

会員の皆様へ 川西町農業委員会の 活動を紹介します！



(株) EDEN取締役
我妻飛鳥さん (米沢市)

山形県農業委員会 女性の会 からの

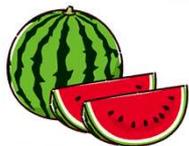
お知らせ

No.16

明日の活力になるような会を目指して！

発行：山形県農業委員会女性の会事務局
<(一社)山形県農業会議>
令和6年2月15日発行

女性農業委員と女性農業者同士の交流を図る 「いきいき農業者交流会」を開催しました！



山形県農業委員会女性の会では、女性委員の活動等を紹介するお知らせを発行しています。
今回は、川西町農業委員会の取り組みをご紹介します。

第1回「山形版GAPとSNS活用方法の研修」



女性農業者同士で顔を合わせ 横のつながりを強化



我妻さんは野菜ソムリエプロの資格も取得しています

川西町農業委員会では、令和5年9月5日(火)女性農業委員と女性農業者同士の交流を目的に、米沢市の株式会社EDEN取締役の我妻飛鳥さんを講師に「いきいき農業者交流会」を開催しました。

主にスイカ等を生産している同社は、山形県版GAPを取得して適切な作業環境や衛生管理を徹底。参加者は整理整頓された作業場や作業手順のマニュアル化、管理簿による農薬など在庫管理の方法について、我妻さんの話に耳を傾けました。

野菜ソムリエとしても活躍している我妻さんは、SNSを使った情報発信も積極的に行っています。ターゲットを明確にしたSNSの活用術について理解を深めるとともに、実際に使用している写真加工アプリの説明などもあり、和やかな雰囲気での研修となりました。

研修終了後は、町の担当者を交え女性農業者支援の充実について意見交換を行い、女性の課題について共有しました。

町では、女性の新規就農者を確保していくため、今後も女性農業者同士で顔を合わせる機会を創出し、横のつながりを強化していきたいと考えています。

第2回「アシストスーツ体験会」



農業委員
阿部つや子さん

農業委員
遠藤愛さん

【アシストスーツとは……】

モーターによるアシストや人工筋肉等による荷重分散効果により、重量物の持ち上げ・下げ時に腰や腕にかかる負荷を軽減するもの。負荷軽減に伴い、作業時間の短縮や軽労化に繋がり、高齢者や女性の就労支援として注目される。

なんと！30キロの米袋が持ち上がった！



女性農業委員も初体験☆ いろいろなタイプのスーツを装着！

2回目の「いきいき農業者交流会」は12月13日に開かれました。

今回は、農業者の負担軽減や生産性向上と労働力不足の解消をテーマとし、1回目の意見交換会にて農業者への支援として話題に上がった、農作業の負担を軽減する「アシストスーツ」の装着体験を行いました。町内の女性農業者や農業委員など、10名が参加しました。

アシストスーツは、重いものを持ち上げる時に補助するタイプや、サポーター感覚で装着できる手軽なタイプなど複数を用意。開発した企業の担当者から説明を受けた後、実際に装着してみました。女性が30キロの米袋を持ち上げるなど、作業の負担軽減効果を体感し、驚きの声が上がっていました。

その場で注文した方もおり、参加者は「実際に装着する機会がなかったので有意義な体験だった。」「アシストスーツで足への負担が軽くなった。何度もかがんで重い荷物を持つ農家にとって大きな助けになる。」と話していました。



あれ？持ち上がった！

山形県は全市町村で女性委員が登用されています！

山形県の女性委員(農業委員・推進委員)は、令和5年12月現在、79名です。

山形県農業委員会女性の会は
次のステージへ！

令和2年12月25日に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」では、成果目標として、「**農業委員会に占める女性農業委員の割合を早期20%、2025年までに30%を目指す**」としています。
山形県の女性農業委員の割合は、現在14.2%です。

女性委員の仲間を増やし山形県の女性委員の輪を一緒につくっていきましょう！



県内農業委員会の皆様へ向けて、情報発信したい女性委員や委員会の取り組み等がございましたら、ぜひ、女性の会事務局へご連絡ください。